

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…ngu-kyomu@naragakuen-u.jp(奈良学園大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
これからの生活科 ～育ちと学びの連続をふまえて～		幼稚園教諭・小学校教諭	6H	講義・演習
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成30年8月8日(水)	40人	善野 八千子 (奈良学園大学・教授)		
会場				
奈良学園大学				
<b>【講習の概要】</b>				
「これからの生活科～子どもの育ちと学びの連続をふまえて～」を講習テーマとする。学習指導要領を踏まえ、体験をとおした気づきを質的に高める指導の在り方や幼児教育との具体的な接続・連携の図り方について講習する。				
<b>【小テーマ①】 体験をとおした気づきを質的に高める指導</b>			3. 0H (担当講師:善野 八千子)	
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	PDCAマネジメントサイクルを活用して、これからの生活科における授業改善について理解する。			
到達目標・確認指標	学習指導要領のめざすものをふまえ、生活科の目標設定や評価及び指導改善について、① これまでの成果から、今後も継続・強化しようと考えた点 ② 見直しを図ろうと考えた点③ 新規に取り組もうと考えた点について、説明できるようになる。			
キーワード	PDCAと授業改善、自立の基礎、生きる力の育成、気づきの質、伝え合う力			
<b>【小テーマ②】 幼児教育との具体的な接続・連携</b>			3. 0H (担当講師:善野 八千子)	
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	幼小混合グループに分かれ、就学前後の「子どもの戸惑い」場面について、共有する。一日体験入学「もうすぐ1ねんせい(幼)」「あたらしい1年生をしようたいしよう(小)」の合同指導案を検討する。			
到達目標・確認指標	幼小接続に必要な援助・指導と「学びの基礎力(知・徳・体)」について理解し、接続カリキュラム作成に着手できるようになる。			
キーワード	「教育の連携性」と「教育の一貫性」、環境移行と戸惑い、就学前後の接続カリキュラム、育ちと学びをつなぐ言語活動			
試験方法	講習の最後に30分程度の筆記試験を行う			
成績評価の方法・基準等	筆記試験をもとに成績評価する(100点満点)。60点以上を合格とする。 採点基準:「体験をとおした気づきを質的に高める指導の在り方」及び「幼児教育との具体的な連携の図り方」について、これからの授業構想をもつことができたか。			